

医学科進学		コース	2025年度シラバス(地歴公民科)			開志国際高等学校		
科目	日本史探究	学年	2/3学年	開講	2カ年	必修	4	単位

教科書： 山川出版社「詳説日本史」
 副教材： 山川出版社「詳説日本史ノート」「詳説日本史図録 第5版」

1 学習の到達目標

我が国の歴史の展開を世界的視野に立って総合的に考察させ、様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。我が国の文化・伝承の特色についての認識を深めさせることで多面的・多角的にによって、歴史的思考力を培い、日本国民としての自覚と国際社会において他国や他国の文化を尊重する大切さへの自覚を促す。

2 学習計画及び評価方法

- a 知識・技能 定期考査、課題等
 b 思考・判断・表現 定期考査、課題等
 c 主体的に学習に取り組む態度 平素の授業態度、提出物、発表等

学期	項目	単元	学習内容	学習のねらい	月	考査	評価の観点		
							a	b	c
前期	第Ⅰ部	日本文化のあけぼの	文化の始まり	・初期の日本人の思想・ルーツを理解できる。 ・律令国家の歩みにつながる背景と政権の推移を理解できる。	中間		○		
			農耕社会の成立				○	○	
		古墳とヤマト政権	古墳文化の展開				○	○	
			飛鳥の朝廷				○		
		律令国家の形成	律令国家への道				○		
			平城京の時代				○		
			律令国家の文化				○		
			律令国家の変容				○	○	
		貴族政治の展開	摂関政治				○	○	
			国風文化				○		
	第Ⅱ部		地方政治の展開と武士	○	○				
			院政と武士の躍進	院政の始まり	○	○	○		
		院政と平氏政権		○					
		鎌倉幕府の成立		○	○				
		武士の社会		○	○				
		モンゴル襲来と幕府の衰退	○	○					
		鎌倉文化	○	○					
		前期 授業評価					期末	○	○
	後期	武家社会の成長	室町幕府の成立	・世界とのかかわりの中から日本をとらえる。 ・時代の担い手の変遷を理解できる。	中間		○	○	
幕府の衰退と庶民の台頭			○						
室町文化			○						
戦国大名の登場			○				○		
第Ⅲ部		近世の幕開け	豊織政権 桃山文化	・探究活動を通して時代背景、政策内容、その後の事象を考察する。 ・各事象を比較・考察することで、浮かび上がる事象と世界とのかかわりをつかむことができる。	○	○	○		
		幕藩体制の成立と展開	幕藩体制の成立	・時代・事象の背景を考察する。	○				
			幕藩社会の構造		○	○			
		幕藩体制の成立と展開	幕政の安定	○					
			経済の発展	○	○				
		幕藩体制の動揺	元禄文化	○					
			幕政の改革	・探究として各改革内容を考察し、特色をとらえることができる。 ・各事象が現代社会に与える影響について考察することができる。	○				
			宝暦・天明期の文化	○					
幕府の衰退と近代への道			○	○					
第Ⅳ部		近世から近代へ	開国と幕末の動乱 幕府の滅亡と新政府の発足	・動乱期の日本の思想と新たな国家形成の成り立ちを理解することができる。 ・日本の外来文化への受容の在り方とともに、その特徴を過去・現在・未来とともに考察を重ねることができる。	○	○	○		
		近代国家の成立	明治維新と富国強兵	・国際社会の中の日本について多角的視点から考察することができる。	○				
			立憲国家の成立		○	○			
		近代国家の展開	日清・日露戦争と国際関係	○	○				
			第一次世界大戦と日本	○	○				
		近代の産業と生活	ワシントン体制	・世界の中の日本を位置づけ、列強とのかかわりをつかむ。 ・当時の日本の政策が現代の日本社会にどのような影響を与えているか考察を加えていくことができる。	○				
			近代産業の発展	○					
	近代文化の発達		○	○					
市民生活の変容と大衆文化	○		○						
後期 授業評価					学年末	○	○	○	
3年前期	第Ⅳ部	恐慌と第二次世界大戦	恐慌の時代	・探究の中で、戦争への歩みとその悲惨さを様々な視点から学び取り、現代社会に生かすことができる。 ・戦前と戦後の日本の違いを理解するとともに、世界情勢の変化もつかみ取る。 ・現代日本の国際社会における役割を考察することができる。	中間		○	○	
			軍部の台頭				○		
		第二次世界大戦	○				○		
		占領下の日本	占領と改革 冷戦の開始と講話				○		
	激動する世界と日本	経済大国への道	○	○					
		冷戦の終結と日本社会の変容	○	○					
前期 授業評価					中間	○	○	○	

3 評価の観点

各観点100点満点で算出する。
 ○知識・技能 : 査査素点 70%+課題等 30%
 ○思考・判断・表現 : 査査素点 60%+課題等 40%
 ○主体的に学習に取り組む態度 : 平素の授業態度、提出物、発表等…100%